

九州・沖縄地域公設試&産総研 活用フォーラムの開催

1. 主催

特許庁、九州経済産業局、九州知的財産戦略協議会、内閣府沖縄総合事務局、独立行政法人産業技術総合研究所九州センター

2. 開催日時・場所

日時：平成20年10月9日(木) 13:00~17:00
場所：西日本総合展示場(北九州市小倉北区)
(財)西日本産業コンベンション協会主催「九州・国際テクノフェア」(10月8~10日)内にて開催されます。ホームページ(<http://www.it-kushu.net/>)より来場者事前登録が可能です。

3. 内容

①特別講演 (13:00~14:00)
『知的財産を戦略的に活用する時代—連携・協力によって壁を越える—』

大阪工業大学 知的財産学部教授 石井 正

②産総研・公設試の技術シーズ活用事例の発表 (14:00~17:00)

- 「福岡オリジナル清酒の開発」
福岡県工業技術センター
- 「障害者用椅子を電動化する自操型駆動ユニットの開発」
佐賀県工業技術センター
- 「少中量規模・カスタム生産に対応した発光ダイオード(LED)照明器具の商品化」
長崎県工業技術センター
- 「多機能素材研究会の活動-水質浄化システムの開発-」
熊本県産業技術センター
- 「竹製温泉冷却装置「湯雨竹(ゆめたけ)」の開発」
大分県産業科学技術センター
- 「シラス多孔質ガラス(SPG)膜によるナノバブルの生成と応用」
宮崎県工業技術センター
- 「全量芋仕込み焼酎の製造技術の開発」
鹿児島県工業技術センター
- 「ビール酵母を利用した商品開発」
沖縄県工業技術センター

ラボツアーの開催

当センターでは、10月4日(土)に、毎回好評を頂いているラボツアーを開催します。

センターの研究内容及び技術支援の現場を広く知ってもらう目的で、7つの研究部のうち、今回は、デザイン・工芸部、素材開発部及び木材工業部の3部について、公開いたします。

各部の業務内容や、現在主に取り組んでいる研究開発と技術支援の紹介を行った後、研究室や実験棟へ移動し、デモを交えた事例紹介や装置の説明を行います。

日時：10月4日(土) 13:30~16:00

場所：工業技術センター 大会議室及び実験棟
内容：

①デザイン・工芸部

工芸技術・木材加工技術、グラフィック・パッケージデザイン、レーザ加工技術

②素材開発部

バルーン製造技術、無機材料の粉碎・焼成技術、分析技術、腐食紡織技術

③木材工業部

強度・木構造、乾燥、木質材料

申込み：工業技術センター 企画情報部

<http://www.kagoshima-it.go.jp/>

(ホームページから申込みできます)

問い合わせ：E-mail info@kagoshima-it.go.jp

これまでのラボツアーのアンケートでは、参加してよかったとの回答が多く、内容や説明についても、業務内容が理解できた、専門外の技術にも興味を持たたなどの意見がありました。

<表紙の説明>

デジカメやカメラ付き携帯電話のカメラの光検出器に使用されているCCDセンサの手前には、赤緑青のフィルタが施され、特定波長の光だけがセンサに到達できるようになっています。緑のフィルタが赤と青の倍、配置されているのは、緑の範囲に最も敏感な人間の視覚に合わせるためです。

鹿工技ニュースNo.83

<http://www.kagoshima-it.go.jp/public/news/news83/>

編集 鹿工技ニュース編集委員会

発行 鹿児島県工業技術センター 2008年10月号(年4回発行)

〒899-5105 鹿児島県霧島市隼人町小田1445-1

TEL 0995-43-5111 FAX 0995-64-2111

(禁無断転載)